

特別障害者手当認定診断書(視覚障害用)									
① (ふりがな)氏名				男・女	② 生年月日		明治 大正 昭和 平成		
③ 住所					④ 障害の原因となつた傷病名				
⑤ 傷病の原因又は誘因		先天性 後天性 (疾病、不慮災、労災、その他)			⑥ 傷病発生日		昭和 平成		
⑦ ④のためはじめて医師の診断を受けた日		昭和 平成			⑧ 将来再認定の要		有 (年後) ・ 無		
現 症	⑨ 眼所見(前眼部、中間透光体、眼底所見)								
	⑩ 視力		裸眼視力		矯正視力		矯正可能な場合は使用眼鏡の種類とその度数		
		右眼							
		左眼							
⑪ 備考									
上記のとおり診断します。 平成 年 月 日 病院又は診療所の名称 所在地 診療担当科名 医師氏名									

◎裏面の注意をよく読んでから記入して下さい。
◎字は楷書ではっきりと書いて下さい。

新 規 認 定	身体障害者手帳	障害名	級	項
再 認 定	有 ・ 無		級	項
	地 域 振 興 局	(担当 姓・職)		
	社会福祉事務所			

判 定 結 果	該 当	別表第2第	号に該当
		別表第2第	号に該当
	非 該 当	認定基準に適合しない (理由) 診断書記載内容が不備	
		上記のとおり判定する	
	平成	年	月 日
			(印)

注意

- 1 この診断書は、特別障害者手当の受給資格を認定するための資料の一つです。
 この診断書は、障害者の障害の状態を証明するために使用されますが、記入事項に不明な点がありますと認定がおそくなることがありますので、くわしく記入してください。
- 2 ○・×で答えられる欄は、該当するものを○でかこんでください。記入しきれない場合は、別に紙片をはりつけてそれに記入してください。
- 3 ⑦の欄は、この診断書を作成するための診断日ではなく、障害者が障害の原因となった傷病についてはじめて医師の診断を受けた日を記入してください。前に他の医師が診断している場合は、障害者本人又はその父母等の申し立てによって記入してください。また、それが不明の場合には、その旨を記入してください。
- 4 ⑩の欄は、視力測定の際の照度は、200ルクスとしてください。
- 5 口頭による諸検査結果と他覚所見とが一致しないような場合は、備考欄になるべくくわしく診断結果を附加記入してください。